

2020年10月2日

一般社団法人九州経済連合会

福岡金融・経済記者クラブ 御中

令和2年度九州沖縄経済圏スマートフードチェーン事業化戦略会議（農研機構主催、九経連後援）の開催について

九経連では、農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構）が設置した「九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト」と連携し、「育種から生産、加工、流通、消費、輸出」に至るバリューチェーンの構築など、農畜産物・食品の付加価値増大及び輸出促進への取り組みを推進しています。

農研機構は、昨年7月のプロジェクト発足会后、各研究課題について共同研究機関等と研究の進展を図るとともに、九州沖縄経済圏の農業・食品産業界等のニーズを確認し、新たな研究課題のテーマについて協議を重ねています。

このたび、農研機構は、これらの活動結果についてご報告する場として、延期となっていた「事業化戦略会議」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1. 開催日時 令和2年10月6日（火） 13:00～16:20
2. 開催場所 みらいホール&カンファレンス（ホール）
福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館4階
3. 開催方法 会場60名（先着順）及びWeb配信
4. 主 催 農研機構
5. 後 援 一般社団法人九州経済連合会、九州農業成長産業化連携協議会
6. 開催概要 別紙をご覧ください。

【取材のお申込み先】

農研機構本部広報課 高橋、栗山

TEL 029-838-8786 e-mail naro-pr@naro.affrc.go.jp

【本件に関するお問い合わせ先】

（一社）九州経済連合会 農林水産部 中山

TEL 092-791-4268 e-mail ik_nakayama@kyukeiren.or.jp

一般社団法人九州経済連合会

令和 2 年度九州沖縄経済圏スマートフードチェーン事業化戦略会議の開催について

1. 趣 旨

農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構）は、プロジェクト発足会后、各研究課題について共同研究機関等と研究の進展を図るとともに、九州沖縄経済圏の農業・食品産業界等のニーズを確認し、新たな研究課題のテーマについて協議を重ねています。

これらの活動結果について、皆さまにご報告する場として、延期となっていた「事業化戦略会議」を下記のとおり開催することとしましたので、お知らせします。

2. 開催日時：令和 2 年 10 月 6 日（火） 13:00～16:20

3. 開催場所：みらいホール&カンファレンス（ホール）
福岡県福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 4 階

4. 開催方法：会場 60 名（先着順）及び Web 配信

5. 主 催：農研機構

6. 後 援：一般社団法人九州経済連合会
九州農業成長産業化連携協議会
（事務局：九州農政局、九州経済産業局、一般社団法人九州経済連合会）

7. 内 容

(1) 理事長挨拶 13:00～13:05

農研機構理事長 久間 和生

(2) 来賓挨拶 13:05～13:20

一般社団法人九州経済連合会会長 麻生 泰（予定）

農林水産省九州農政局（予定）

経済産業省九州経済産業局（予定）

(3) 講演① 13:20～13:50

プロジェクト成果の事業化と輸出拡大に向けた農研機構の取り組み

農研機構総括調整役 兼 事業開発室長 田中 健一

(4) 各課題研究成果の説明 13:50～14:40

1) 和牛肉の輸出に向けた海外消費者へのアピール戦略 13:50～14:00

農研機構畜産研究部門長 高橋 清也

2) ミニマムヒーティングによる水産加工品等の長期保存技術 14:00～14:10

農研機構食品研究部門長 亀山 眞由美

- 3) 輸送中のかんしょ腐敗問題の対応 14:10～14:20
農研機構九州沖縄農業研究センター所長 井手 任
- 4) イチゴの輸出促進に向けた課題解決と産地形成 14:20～14:30
農研機構九州沖縄農業研究センター所長 井手 任
- 5) 施設園芸トマト収穫予測技術 14:30～14:40
農研機構野菜花き研究部門長 岡田 邦彦
- (5) 講演② 14:40～15:00
九州からの農畜産物の輸出拡大戦略について
農研機構NARO開発戦略センター総括調整役 原田 久富美
- (6) 質疑応答 15:00～15:20
- (7) 閉会挨拶 15:20～15:25
農研機構理事 折戸 文夫
- ～～ 休憩 (15 分) ～～
- (8) 個別協議のための各研究課題成果の説明・質疑 15:40～16:20
Zoomによる個別配信
- ①イチゴの輸出促進に向けた課題解決と産地拡大
 - ②米粉用米の産地拡大と米粉適性の解明（生産）
 - ③米粉用米の産地拡大と米粉適性の解明（適性）
 - ④β-グルカンリッチなもち性大麦品種群の産地拡大と用途開発
 - ⑤輸送中のかんしょ腐敗問題の対応
 - ⑥ミニマムヒーティングを活用した水産加工品等の長期保存技の開発
 - ⑦リーファークンテナ青果混載技術の開発
 - ⑧施設園芸トマト収穫予測技術の開発
 - ⑨和牛肉の販売戦略立案と品質アピールコンテンツ確立

※事務局（連絡先）

農研機構本部事業開発室 石田・坪

Tel. 029-838-6962・8462 Fax. 029-838-6536

e-mail : q_smart_entry@ml.affrc.go.jp

※内容が変更になることもございますので、ご了承ください。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、本会議を再延期する場合がございますので、予めご了承ください。